

第8章 関連商品資料

目次

8.1	IBM 5591 HDD/増設メモリー	1
8.2	ART/エミュレーションキット	5
8.2.1	ART IV	5
8.2.1.1	ホストインターフェースとプリント言語	5
8.2.1.2	使用できるフォント	5
8.2.1.3	ART IV 設定項目一覧	5
8.2.2	ESC/P エミュレーション	6
8.2.2.1	ホストインターフェースとプリント言語	6
8.2.2.2	使用できるフォント	6
8.2.2.3	ESC/P 設定項目一覧	6
8.2.3	HP-GL エミュレーション	8
8.2.3.1	ホストインターフェースとプリント言語	8
8.2.3.2	使用できるフォント	8
8.2.3.3	HP-GL 設定項目一覧	8
8.3	PostScript キット	10
8.3.1	PostScript Driver Library について	10
8.3.2	操作パネルでの設定	12
8.3.3	設定項目について	13
8.3.4	Windows95、Windows98、WindowsMe における操作	14
8.3.4.1	付属のソフトウェア	14
8.3.4.2	必要なハードウェア/ソフトウェア環境	14
8.3.4.3	AdobePS ソフトウェアのインストール	14
8.3.5	WindowsNT4.0 における操作	15
8.3.5.1	付属のソフトウェア	15
8.3.5.2	必要なハードウェア/ソフトウェア環境	15
8.3.5.3	AdobePS ソフトウェアのインストール	15
8.3.6	Windows 2000 における操作	16
8.3.6.1	付属のソフトウェア	16
8.3.6.2	必要なハードウェア/ソフトウェア環境	16
8.3.6.3	AdobePS ソフトウェアのインストール	16
8.3.7	Macintosh における操作	17
8.3.7.1	付属のソフトウェア	17
8.3.7.2	必要なハードウェア/ソフトウェア環境	17
8.3.7.3	インストール手順	17
8.3.7.4	スクリーンフォントのインストール手順	17
8.3.7.5	Fuji Xerox PS Utility のインストール手順	18

8.1 IBM 5591 HDD/増設メモリー

IBM オーダーナンバー

- ・ HDD : 55P1187
- ・ 増設メモリー: 55P1188

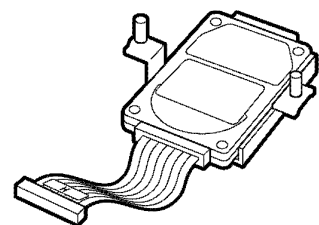
設置手順

注記 HDD/増設メモリーを一緒に設置する手順を記載する。

警告 “プリントキュー”が無い事を確認し、電源を OFF し電源コードを抜く。

1. 同梱包品の確認をする。

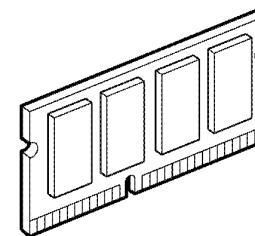
・HDD



j0mr8101

(図-1)j0mr8101

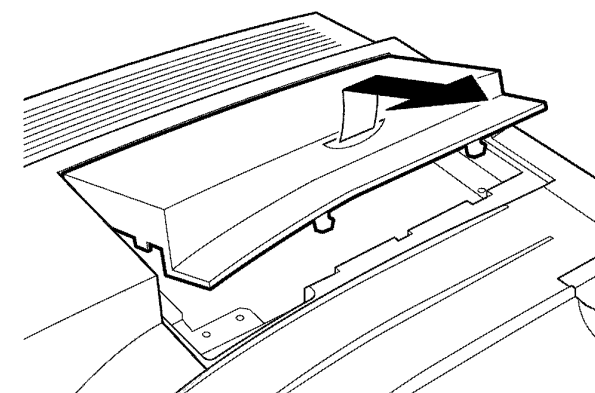
・増設メモリー



j0mr8102

(図-2)j0mr8102

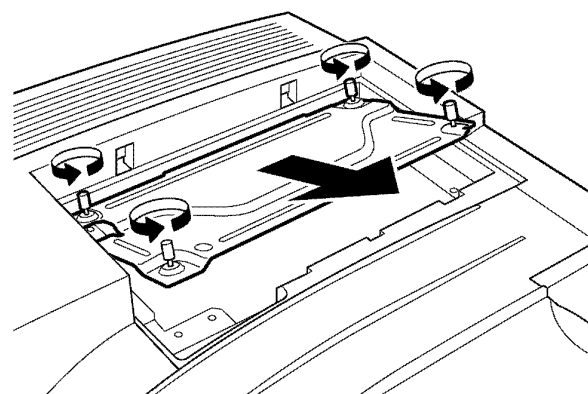
2. 上面の右奥にあるカバーの取っ手を、矢印の方向に外す。(図-2)



j0mr8103

(図-2)j0mr8103

3. 4ヶ所のねじを緩めて、金属の板を外す。(図-3)



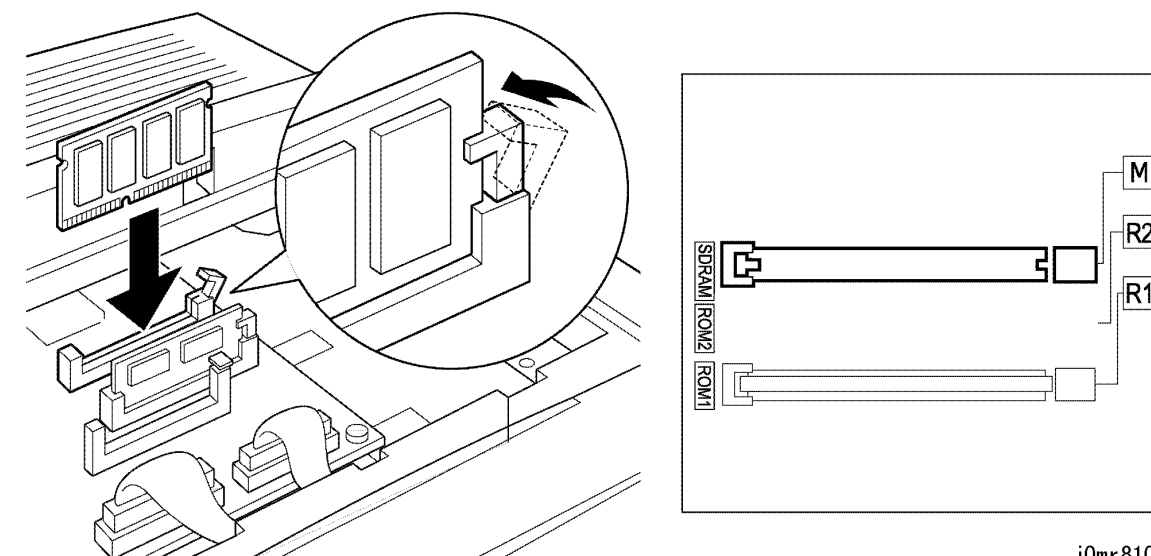
j0mr8104

(図-3)j0mr8104

4. 増設メモリーをスロット M に切りかき左側にくるように、まっすぐに差し込む。真上から軽く押し込んだ状態で、さらに左、右の順に強く押し込む。(図-4)

注記 両面機の場合は必ず装着します。

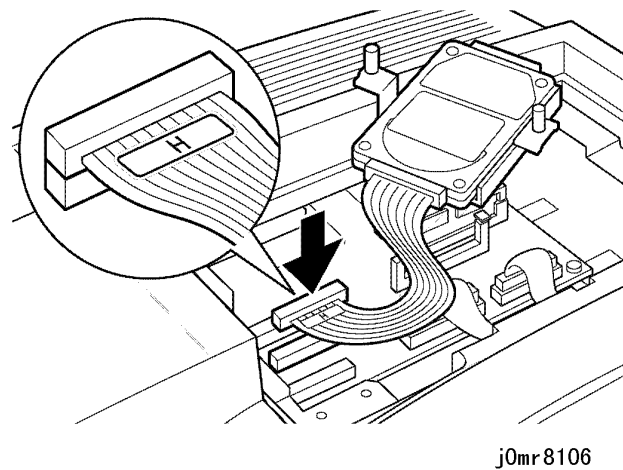
注記 確実に押し込まないと、正しく動作しません。その場合は、取り付け直してください。



j0mr8105

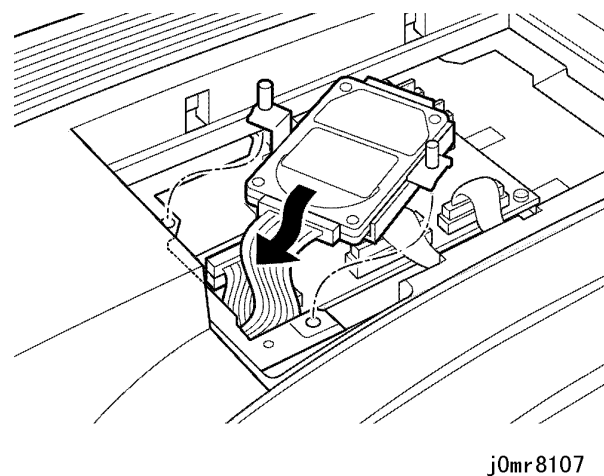
(図-4)j0mr8105

5. ハードディスクのソケットをプリンター側のソケット H に差し込む。(図-5)



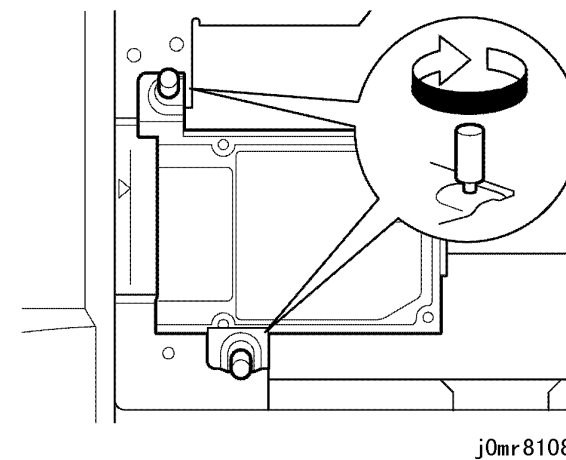
(図-5)j0mr8106

6. コネクターケーブルをハードディスクの下に入れ込む。(図-6)



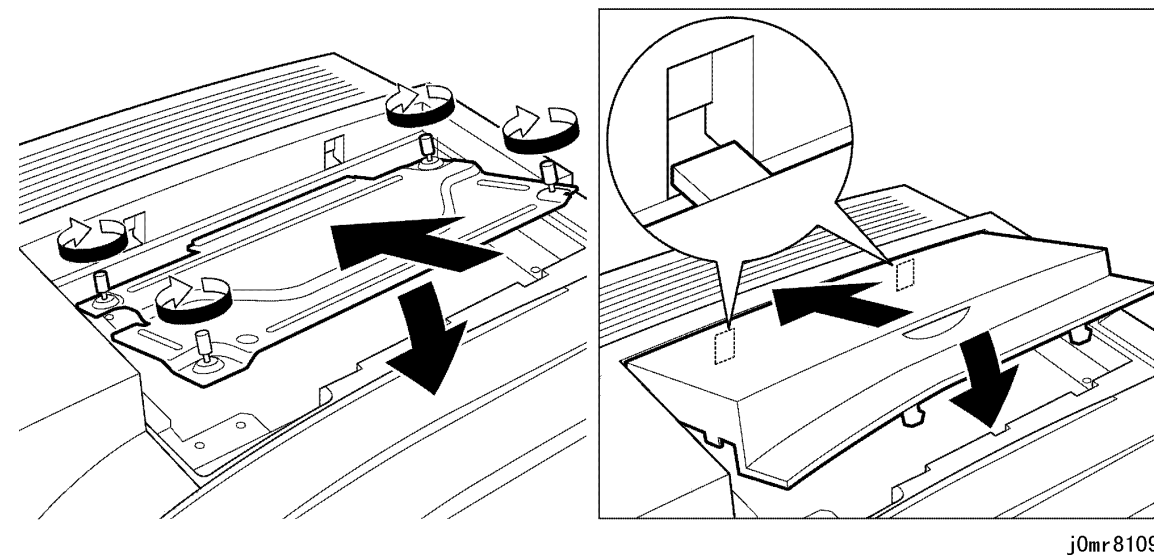
(図-6)j0mr8107

7. ハードディスクの 2 ヶ所をねじで固定し装着する。(図-7)



(図-7)j0mr8108

8. 4 ヶ所のねじを留めて、金属の板を取り付けてから、上面の右奥のカバーを取り付ける。(図-8)



(図-8)j0mr8109

9. 機械が正しく設置されたことを確認する為、以下の手順にてテストプリントを印刷する。
 - (1) 電源を ON する。
 - (2) “プリントデキマス”状態で“メニュー”キーを押す。
 - (3) “↑”または“↓”キーを何度か押し[メニューレポート/リスト]を選択する。
 - (4) “→”キーを1回押す。
 - (5) “排出/セット”キーを押す。機能設定リストが印刷される。リストにて正しく設置されているか確認する。
 - (6) “メニュー”キーを押し“プリントデキマス”に戻る。

8.2 ART/エミュレーションキット


IBM オーダーナンバー:55P1190

注記 ART/エミュレーションキットと PostScript キットの併用は、PWB 上の同じスロットを使用する為できない。

参考 機能の詳細は、取り扱い説明書を参照する事。
ART キット ROM を取り付けると、次のプリント言語が使用可能となる。

- ・ ART IV
- ・ ESC/P エミュレーション
- ・ HP-GL エミュレーション

設置手順

 **警告** プリントキューが無いことを確認し電源スイッチを OFF にして、電源プラグを抜く。

1. プリンター上面カバーを外し、4箇所ネジを緩め金属カバーを外す。
2. キット内の ROM を ESS PWB 上の ROM1(R1)に取り付けられている ROM と入れ替える。
3. 取り外した部品を元に戻す。

8.2.1 ART IV

8.2.1.1 ホストインターフェースとプリント言語

ホストインターフェースごとに対応するプリント言語は異なる。プリント言語に対応するホストインターフェースは次の通りである。

- ・ パラレルポート
- ・ NetWare ポート
- ・ Lpd ポート
- ・ SMB ポート
- ・ IPP ポート

8.2.1.2 使用できるフォント

搭載されているアウトラインフォントは、次のとおりである。

- 和文
- ・ 平成明朝体 W3
 - ・ 平成角ゴシック体 W5
- 欧文
- ・ 平成明朝体 (ローマン)
 - ・ 平成角ゴシック体 (サンセリフ)

- ・ 平成角ゴシック体 (FMT)
- ・ Enhanced Classic
- ・ Enhanced Modern
- ・ CS Times Roman
- ・ CS Times Italic
- ・ CS Times Bold
- ・ CS Times Bole Italic
- ・ CS Triumvirate Regular
- ・ CS Triumvirate Italic
- ・ CS Triumvirate Bold
- ・ CS Triumvirate Bole Italic
- ・ CS Courier
- ・ CS Courier Oblique
- ・ CS Courier Bold
- ・ CS Courier Bold Oblique
- ・ CS Symbol

8.2.1.3 ART IV 設定項目一覧

1. メモリー設定
ART IV に関連する設定項目は、“ART4 フォームメモリー”と“ART4 ユーザー定義メモリー”である。
 - ・ ART4 フォームメモリー
ART4 フォームで使うメモリー容量を指定します。この項目は、ART キット ROM が装着されている場合に表示される。
32~2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定する。初期値は< 192K>である。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化する。内蔵ハードディスクが装着されている場合は、< ハードディスク>と表示される。
 - ・ ART4 ユーザー定義メモリー
ART4 ユーザー定義で使うメモリー容量を指定します。この項目は、ART キット ROM が装着されている場合に表示されます。
32~2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は< 32K>です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化する。
2. 初期化/データ削除
NV メモリーに記憶されているプリンター設定値、ハードディスク、集計レポートの初期化と本機に登録されているフォームなどのデータの削除ができる。NV メモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持しておくことができる不揮発性のメモリーのことである。
ART IV に関連する設定項目は、「フォームの削除」の「ART4 フォーム削除」である。

8.2.2 ESC/P エミュレーション

8.2.2.1 ホストインターフェースとプリント言語

ホストインターフェースごとに対応するプリント言語は異なる。プリント言語に対応するホストインターフェースは次の通りである。

- ・パラレルポート
- ・NetWare ポート
- ・Lpd ポート
- ・SMB ポート
- ・IPP ポート

8.2.2.2 使用できるフォント

搭載されているアウトラインフォントは、次のとおりである。

和文

- ・平成明朝体 W3
- ・平成角ゴシック体 W5

欧文

- ・平成明朝体 (ローマン)
- ・平成角ゴシック体 (サンセリフ)

8.2.2.3 ESC/P 設定項目一覧

設定項目には、基本設定項目と拡張設定項目がある。

参考 詳細は取り扱い説明書を参照。

設定モードの入り方

- ・ 'プリントデキマス'状態で、`モード`キーを押す。

基本設定項目

メニュー	候補値
印字モード	<カラー>(初期値) <シロクロ>
給紙トレイ	<トレイ 1>(初期値) <トレイ 2> <トレイ 3> <トレイ 4> <トレイ 5>(手差しトレイ)

メニュー	候補値
メモリー設定	<No1>~<No5>, <コウジョウ>(初期値)
原稿サイズ	<ヨウシタテ>(初期値) <ヨウシヨコ>
倍率符号	設定不可
用紙サイズ	<A4>(初期値) <A3>,<A5>,<B4>,<B5>,<ジドウ>

拡張設定項目

メニュー	候補値
用紙位置	<CSF ナシ>(初期値) <CSF アリ>
プリント部数	1(初期値)~250
倍率	<コテイバイリツ>(初期値) <ニンイバイリツ> <カットシゼンメン>
2 アップモード	<シナイ>(初期値) <ジュンホウコウ> <ギャクホウコウ>
排出先トレイ	<センタートレイ>(初期値) (Printer 機では選択不可)
トレイ 5 確認表示	<スル>(初期値) <シナイ>
両面	<シナイ>(初期値) <サユウビラキ> <ジョウゲビラキ>
フォント	<ストローク>(初期値) <明朝体> <ゴシック体>
位置補正(上下・左右方向) (一度に補正可能)	<0mm>初期値 -250~250mm まで可能

メニュー	候補値
罫線	<イメージ>初期値 <フォント>
印字制御	<エプソン>初期値 <トウシバ>
印字行範囲	<ヒョウジュン>初期値 <カクチョウ>
ESCP スイッチ(文字品位)	<高品位>初期値 <ドラフト>
ESCP スイッチ(縮小文字)	<シナイ>初期値 <スル>
ESCP スイッチ(文字コード表)	<カタカナ>初期値 日本国内は初期値にて固定
ESCP スイッチ(ページ長)	<11 インチ>初期値 <12 インチ>
ESCP スイッチ(1 インチミシン目スキップ)	<シナイ>初期値 <スル>
ESCP スイッチ(給紙位置)	8.5(初期値)~22mm で設定可能)
ESCP スイッチ(GR の機能)	<フッキ>初期値 <フキカイギョウ>
拡張子指定	<ムコウ>初期値 <ユウコウ>
拡張子文字	0x21~0x7E 初期値は TBD
フォーム合成	<シナイ>初期値 <No.01>~<No.64>

8.2.3 HP-GL エミュレーション

8.2.3.1 ホストインターフェースとプリント言語

ホストインターフェースごとに対応するプリント言語は異なる。プリント言語に対応するホストインターフェースは次の通りである。

- ・ 平行ポート
- ・ NetWare ポート
- ・ Lpd ポート
- ・ SMB ポート
- ・ IPP ポート

8.2.3.2 使用できるフォント

搭載されているアウトラインフォントは、次のとおりである。

和文

- ・ 平成明朝体 W3
- ・ 平成角ゴシック体 W5

欧文

- ・ 平成明朝体 (ローマン)
- ・ 平成角ゴシック体 (サンセリフ)

8.2.3.3 HP-GL 設定項目一覧

設定項目には、基本設定項目と拡張設定項目がある。

参考 詳細は取り扱い説明書を参照。

設定モードの入り方

'プリントデキマス'状態で、'モード'キーを押す。

基本設定項目

メニュー	候補値
印字モード	<カラー>(初期値) <シロクロ>
給紙トレイ	<トレイ 1>(初期値) <トレイ 2> <トレイ 3> <トレイ 4> <トレイ 5>(手差しトレイ)

メニュー	候補値
メモリー設定	<No1>~<No5>, <コウジョウ>(初期値)
座標原点	<0 度>(初期値) <90 度>
原稿サイズ	<ジドウ>(初期値) <ヨウシヨコ>
倍率符号	設定不可
用紙サイズ	<A4>(初期値) <A3>、<A5>、<B4>、<B5>、<ジドウ>

拡張設定項目

メニュー	候補値
オートレイアウト	<スル>(初期値) <シナイ>
パレット優先指定	<コマンド>(初期値) <メモリートウロクセツテイ>
プリント部数	1(初期値)~250
排出先トレイ	<センタートレイ>(初期値) (Printer 機では選択不可)
トレイ 5 確認表示	<スル>(初期値) <シナイ>
両面	<シナイ>(初期値) <サユウビラキ> <ジョウゲビラキ>
フォント	<ストローク>(初期値) <明朝体> <ゴシック体>
位置補正(上下方向)	<0mm>初期値 -250~250mm まで可能
位置補正(左右方向)	<0mm>初期値 -250~250mm まで可能

メニュー	候補値
印字制御 (HPGL モード)	<HP-GL>初期値 <HP-GL/2>
印字制御 (ハードクリップ)	<ヨウシ>初期値 <ヒョウジュン>
印字制御 (排出コマンド)	<ムコウ>初期値 <他コマンド>
印字制御 (スケール)	<シナイ>初期値 <スル>
印字制御 (スケールモード)	<ヨウシサイズ>初期値 <ザヒョウエリア>
印字制御 (エリア判定モード)	<ジドウ>初期値 <PS> <IW> <IP> <Adapted>
印字制御 (ペーパーマージン)	<0mm>初期値 (0~90mm で設定可能)
印字制御 (イメージエンハンス)	<スル>初期値 <シナイ>

8.3 PostScript キット

IBM オーダーナンバー:55P1189

注記 PostScript キットと ART/エミュレーションキットの併用は、PWB 上の同じスロットを使用する為できない。

参考 機能の詳細は、取り扱い説明書を参照する事。

目的 PostScript キット(プログラム ROM とフォント ROM)を取り付けると PostScript 対応プリンターとして DocuPrintC2220 が使用できる。

キット内同梱包品の確認

キット内に以下がある事を確認する。

- ・PostScript プログラム ROM (数量:1)
- ・PostScript Font ROM (数量:1)
- ・PostScript Driver Library CD-ROM (数量:1)
- ・Adobe PostScript 3 ロゴシール (数量:1)
- ・マニュアル (数量:1)
- ・使用許諾書 (数量:1)

設置手順

警告 プリントキューが無いことを確認し電源スイッチを OFF にして、電源プラグを抜く。

1. プリンター上面カバーを外し、4箇所ネジを緩め金属カバーを外す。
2. キット内の ROM を ESS PWB 上の ROM1(R1)に取り付けられている ROM と入れ替える。
3. キット内の Font ROM を ESS PWB 上の F スロットに取り付ける。
4. 取り外した部品を元に戻す。
5. キット内の Adobe PostScript 3 ロゴシールを図の位置に貼り付ける。(図-1)

(図-1)j0mr8110

8.3.1 PostScript Driver Library について

PostScript Driver Library の CD ROM には以下のソフトウェアが入っている。

1. Windows 向けのソフトウェアの Directory 構成

	ファイル/フォルダー名	ソフトウェア名称
FXOPS-PS		
	-Win9x	弊社製日本語版 Windows 95、Windows 98 用 AdobePS Plug-in ドライバー
	-Nt40	弊社製日本語版 Windows NT 4.0 用 AdobePS Plug-in ドライバー
	-Win2000	
	-PPD	日本語版 Windows 2000 用 PPD ファイル インストール用 inf ファイル
	-Plug-in 弊社製	Windows 2000 用 MSPScript Plug-in ドライバー
	-English	
	-Win9x	英語版 Windows 95、Windows 98 用 PostScript ドライバー
	-Nt40	英語版 Windows NT 4.0 用 PostScript ドライバー
	-Win2000	英語版 Windows 2000 用 PPD ファイル、インストール用 inf ファイル
	-ppd	
	-Japanese	Windows 用日本語版 PPD ファイル

	-English	Windows 用英語版 PPD ファイル
	-Fxwin31	弊社製 Windows 3.1 用 PostScript ドライバー
	-FxNt351	弊社製 Windows NT 3.51 用 PostScript ドライバー
	-FxNt40 弊社製	Windows NT 4.0 用 PostScript ドライバー
	-Ps3_fonts	
	-CE Fonts	Windows 用欧文 Type1 スクリーンフォント 117 書体(CE 版)
	-True Type fonts	Windows 用欧文 TrueType スクリーンフォント 19 書体
	-Type1Fonts	Windows 用欧文 Type1 スクリーンフォント 117 書体
	-icm	Windows 用 ICC プロファイル
	-atm	Windows 95、Windows 98 用 Adobe Type Manager 3.2J
	-read me.txt	
	-manual.exe	“ PostScript Driver Library(Macintosh /Windows) ユーザーズガイド” の DocuWorks 自己解凍文書マニュアル
	-manual.pdf	“ PostScript Driver Library(Macintosh /Windows)ユーザーズガイド”の PDF マニュアル

	-FuiXerox PS Utility	Macintosh 用弊社製 Fuji Xerox PS Utility
	-スクリーンフォント	Macintosh 用スクリーンフォント
	-ATM	
	-ATM402	Macintosh 用 Adobe Type Manager 4.0.2
	-ATM452	MacOS9 専用 Adobe Type Manager 4.5.2
	-Acrobat Reader	Macintosh 用 Adobe Acrobat Reader 4.0J

2. Macintosh 向けのソフトウェアの Directory 構成

	ファイル/フォルダー名	ソフトウェア名称
FXOPS-PS		
	-お読みください	
	-マニュアル	“ PostScript Driver Library(Macintosh/Windows)ユーザーズガイド”の PDF マニュアル
	-AdobePS87J	
	-最初にお読みください	
	-AdobePS87J Installer	MacOS 8.5 日本語版以降用 PostScript ドライバー
	-AdobePS852J	
	-AdobePS について	
	-AdobePS8J Installer	漢字 Talk 7.1～MacOS 8.1 日本語版用 PostScript ドライバー
	-プリンタ記述ファイル	Macintosh 用日本語版 PPD ファイル
	-ColorSync 特性	Macintosh 用 ICC プロファイル

8.3.2 操作パネルでの設定

PostScript ソフトウェアキットを装着すると、プリンター用操作パネルから操作する共通メニューに、以下のアスタリスク(*)の項目と選択肢が追加される。

第1階層	第2階層	第3階層	第4階層
ネットワーク/ポート設定	-パラレル	-プリントモード設定 -*Adobe 通信プロトコル	-*PS - *Standard -*Binary -*TBCP
	-lpd	-プリントモード指定 -*TBCP フィルタ.	-*PS -*ユウコウ -*ムコウ
	-NetWare	-プリントモード指定 -*TBCP フィルタ.	-*PS -*ユウコウ -*ムコウ
	-SMB	-プリントモード指定 -*TBCP フィルタ.	-*PS -*ユウコウ -*ムコウ
	-*EtherTalk	-*ポートの起動 -*JCL	-*テイシ -*キドウ -*ユウコウ -*ムコウ
	-IPP	-プリントモード指定 -*TBCP フィルタ.	-*PS -*ユウコウ -*ムコウ
レポート/リスト	-*PS フォントリスト -*PS 登録リスト		
メモリ設定	-*PS 使用メモリ -*受信バッファ容量	-*PS メモリ容量 -*EtherTalk メモリ	

1024KB の範囲で、32KB 単位に設定する。設定できる最大値は、メモリーの空き容量によって変化する。

8.3.3 設定項目について

使用する環境に合わせて、プリンター用操作パネルで、以下の項目を設定する。
ポートの起動……使用するポートを起動状態に設定する。
ポートの設定……本機のポートの設定、およびその通信に必要な条件を設定する。
メモリーの変更……PostScript で使用するメモリー容量を変更する。
各設定項目の設定方法については、“DocuPrint C2220 取扱説明書”の〈第 8 章共通メニューを設定する〉を参照。

ポートの起動

パラレル/lpd/NetWare/SMB/EtherTalk/IPP
PostScript 言語を使用するポートを起動する。

ポートの設定

各ポートのプリントモード指定を、PostScript 言語が使用できるように設定する。パラレルインターフェイスでは、Adobe 通信プロトコルも設定する。
パラレル/lpd/NetWare/SMB/EtherTalk/IPP のプリントモード指定(初期値:パラレル/lpd/NetWare/SMB/IPP<ジドウ>、EtherTalk<テイシ>)
プリントモードとして<PS>(PostScript)、または<キドウ>(EtherTalk時)を指定できる。

パラレルの Adobe 通信プロトコル(初期値:<ヒョウジュン>)

パラレルインターフェイスの PostScript の通信プロトコルを指定する。
ヒョウジュン

通信プロトコルが ASCII 形式のときに使用する。

バイナリー

通信プロトコルがバイナリー形式のときに設定する。データによっては、印刷処理が<ヒョウジュン>に比べて速くなることもある。

TBCP

通信プロトコルに ASCII 形式とバイナリー形式が混在する場合に、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定する。

lpd/NetWare/SMB/IPP の TBCP フィルタ(初期値:<ムコウ>)

通信プロトコルに ASCII 形式とバイナリー形式が混在する場合に、<ユウコウ>にすると、それらを特定の制御コードによって切り替えることができる。

メモリーの変更

PS 使用メモリー容量(初期値:<16.00MB>)

PostScript で使用するメモリー容量を設定します。PS メモリー容量を増やすことで、印刷処理が早くなったり、メモリー不足による PostScript エラーが少なくなったりする。2.0~16.00MB の範囲で、0.25MB 単位に設定します。設定できる最大値は、メモリーの空き容量によって変化する。

EtherTalk の受信バッファ容量(初期値:<256KB>)

EtherTalk に対応するホスト装置の開放が早くなることもある。64~

8.3.4 Windows95、Windows98、WindowsMe における操作

参考 詳細は取り扱い説明書を参照

8.3.4.1 付属のソフトウェア

付属の CD-ROM の中で、Windows95、Windows98、Windows Me から Printer で印刷する場合に必要なものは、以下のとおりである。

“win9x”フォルダー

日本語版の Adobe 社製 PostScript Driver (4.3 J) に、弊社の機能を追加したプリンタードライバーと PPD ファイルが入っている。ジョブオーナー名を指定する場合や、CentreWare のドキュメントモニター機能などを使用する場合は、必ずこのプリンタードライバーをインストールする。

“english¥win9x”フォルダー

英語版の Adobe 社製 PostScript Driver (4.3) プリンタードライバーと、PPD ファイルが入っている。インストール方法については、フォルダー内の “readme. wri” を参照。

“ppd”フォルダー

PPD ファイルが入っている。アプリケーションなどに PPD ファイルを追加する “Ps3_fnts” フォルダープリンターフォントに対応した、スクリーンフォント 136 書体 (TrueType 形式の 19 書体と Type1 形式の 117 書体) が入っている。Type1 形式のスクリーンフォントは、ATM を使用してインストールする。印刷時は、Adobe 社製 PostScript Driver (4.3J) を使用する。

“CE Fonts” フォルダーには、Central European (CE) 版の Type1 フォント 117 書体が入っている。“TrueType (Core OS) fonts” フォルダーには、TrueType フォント 19 書体が入っている。“Type1 fonts” フォルダーには、Type1 フォント 117 書体が入っている。

“atm”フォルダー

Windows95、Windows98 用の Adobe Type Manager (3.2J) が入っている。インストールするには、このフォルダーの中にある [install. exe] をダブルクリックし、画面に表示される指示に従って進める。

readme. txt

プリンタードライバーを使用するための注意事項が記載されている。また、各フォルダー内の “readme. txt” や “fxreadme. txt” にも、プリンタードライバーを使用するための注意事項が記載されている。

8.3.4.2 必要なハードウェア/ソフトウェア環境

Windows 95、Windows 98 用、Windows Me プリンタードライバーの動作環境は、以下のとおりです。

コンピューター本体

- ・Windows 95、または Windows

- ・98、WindowsMe が動作する IBM PC/AT およびその互換機と PC-9800 シリーズ

基本ソフトウェア

- ・Windows 95 日本語版
- ・Windows 98 日本語版
- ・Windows Me 日本語版

8.3.4.3 AdobePS ソフトウェアのインストール

インストール手順は、Windows95 の時の例をもって説明する。

インストール手順

1. Windows 95 を立ち上げる。
2. [スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックする。
3. [プリンタの追加]を開く。
4. [次へ>]をクリックする。
5. プリンターの接続方法を選択し、[次へ>]をクリックする。
6. “PostScript Driver Library”の CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットする。
7. [ディスク使用]をクリックする。
8. “x:¥win9x”と入力し、[OK]をクリックする。
9. [FX DocuPrint G2220 PS H2]を選択して、[次へ>]をクリックする。
10. 使用するポートを選択し、[次へ>]をクリックする。
11. プリンター名を入力し、通常使うプリンターに設定するかどうかを設定して、[次へ>]をクリックする。
12. [はい]、または[いいえ]を選択して、[完了]をクリックする。
13. “エンドユーザー使用許諾契約”を読み、[承諾]をクリックする。
14. [プリンタ]ウィンドウに、プリンターが追加されたことを確認する。

8.3.5 WindowsNT4.0 における操作

参考 詳細は取り扱い説明書を参照

8.3.5.1 付属のソフトウェア

付属の CD-ROM の中で、Windows NT 4.0 から本機で印刷する場合に必要なものは、以下のとおりである。

“nt40”フォルダー

日本語版の Adobe 社製 PostScript Driver (5.1 J) に、FX の機能を追加したプリンタードライバーと PPD ファイルが入っている。ジョブオーナー名を指定する場合や、CentreWare のドキュメントモニター機能などを使用する場合は、必ずこのプリンタードライバーをインストールする事。

“english\nt40”フォルダー

英語版の Adobe 社製 PostScript Driver (5.1) プリンタードライバーと、PPD ファイルが入っている。インストール方法については、フォルダー内の「readme.wri」を参照。

“ppd”フォルダー

PPD ファイルが入っている。アプリケーションなどに PPD ファイルを追加するときに使用する事。

“Ps3_fnts”フォルダー

プリンターフォントに対応した、スクリーンフォント 136 書体 (TrueType 形式の 19 書体と Type1 形式の 117 書体) が入っている。ただし、Windows NT 4.0 日本語版では Type1 形式のフォントは利用できない。

“TrueType (Core OS) fonts”フォルダーに、TrueType フォント 19 書体が入っている。

readme.txt

プリンタードライバーを使用するための注意事項が記載されている。また、各フォルダー内の“readme.txt”や“fxreadme.txt”にも、プリンタードライバーを使用するための注意事項が記載されている。

8.3.5.2 必要なハードウェア／ソフトウェア環境

Windows NT 4.0 用プリンタードライバーの動作環境は、以下のとおりである。

コンピューター本体

・Windows NT 4fs. 0 が動作する、IBM PC/AT およびその互換機と PC-9800 シリーズ

基本ソフトウェア

・Windows NT Workstation
・4.0 Service Pack 4 以降日本語版
・Windows NT Server 4.0 Service Pack 4 以降 日本語版

8.3.5.3 AdobePS ソフトウェアのインストール

インストール手順

1. Windows NT 4.0 を立ち上げる。
2. [スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックする。
3. [プリンタの追加]を開く。
4. プリンターの管理方法を選択し、[次へ>]をクリックする。
5. 使用するポートを選択し、[次へ>]をクリックする。
6. “PostScript Driver Library”の CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットする。
7. [ディスク使用]をクリックする。
8. “x:\nt40”と入力し、[OK]をクリックする。
9. [プリンタ]一覧の中から、[FX DocuPrint C2220 PS H2]を選択して、[次へ>]をクリックする。
10. プリンター名を入力し、通常使うプリンターに設定するかどうかを設定して、[次へ>]をクリックする。
11. ここでは、[共有しない]を選択し、[次へ>]をクリックする。
12. [はい]、または[いいえ]を選択して、[完了]をクリックする。
13. “エンドユーザー使用許諾契約”を読み、[承諾]をクリックする。
14. [プリンタ]ウィンドウに、プリンターが追加されたことを確認する。

8.3.6 Windows 2000 における操作

参考 詳細は取り扱い説明書を参照

8.3.6.1 付属のソフトウェア

付属の CD-ROM の中で、Windows 2000 から本機で印刷する場合に必要なものは、以下のとおりである。

“win2000¥plug-in”フォルダー

日本語版の Microsoft 社製 PostScript

Driver に、弊社の機能を追加したプリンタードライバーと PPD ファイルが入っている。ジョブオーナー名を指定する場合や、CentreWare のドキュメントモニター機能などを使用する場合は、必ずこのプリンタードライバーをインストールする事。

“win2000¥ppd”フォルダー

日本語版の Windows

2000 に付属の PostScript Driver をインストールするための、inf ファイルと日本語版の PPD ファイルが入っている。

“english¥win2000”フォルダー

英語版の Windows 2000 に付属の PostScript

Driver をインストールするための、inf ファイルと英語版の PPD ファイルが入っている。インストール方法については、フォルダー内の“readme.txt”を参照。

“ppd”フォルダー

PPD ファイルが入っている。アプリケーションなどに PPD ファイルを追加するときに使用する事。

“Ps3_fnts”フォルダー

プリンターフォントに対応した、スクリーンフォント 136 書体 (TrueType 形式の 19 書体と Type1 形式の 117 書体)が入っている。ただし、Windows2000 日本語版では Type1 形式のフォントは利用できない。

“TrueType (Core OS) fonts”フォルダーに、TrueType フォント 19 書体が入っている。

readme.txt

プリンタードライバーを使用するための注意事項が記載されている。また、各フォルダー内の“readme.txt”や“fxreadme.txt”にも、プリンタードライバーを使用するための注意事項が記載されている。

8.3.6.2 必要なハードウェア/ソフトウェア環境

Windows 2000 用プリンタードライバーの動作環境は、以下のとおりです。

コンピューター本体

・Windows 2000 が動作する、IBM

・PC/AT およびその互換機と PC-9800 シリーズ
基本ソフトウェア

・Windows 2000 Professional

・日本語版

・Windows 2000 Server 日本語版

・Windows 2000 Advanced Server 日本語版

8.3.6.3 AdobePS ソフトウェアのインストール

インストール手順

1. Windows 2000 を立ち上げる。
2. [スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックする。
3. [プリンタの追加]ダブルクリックする。
4. [次へ>]をクリックする。
5. プリンターの接続方法を選択し、[次へ>]をクリックする。
6. 使用するポートを選択し、[次へ>]をクリックする。
7. “PostScript Driver Library”の CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットする。
8. [ディスク使用]をクリックする。
9. “x:¥win2000¥plug-in”と入力し、[OK]をクリックする。
10. [FX DocuPrint C2220 PS H2]を選択して、[次へ>]をクリックする。
11. プリンター名を入力し、通常使うプリンターに設定するかどうかを設定して、[次へ>]をクリックする。
12. ここでは、[このプリンタを共有しない]を選択し、[次へ>]をクリックする。
13. [はい]、または[いいえ]を選択して、[完了]をクリックする。
14. [完了]をクリックする。
15. コピーが終了したら[プリンタ]ウィンドウに、プリンターが追加されたことを確認する。

8.3.7 Macintosh における操作

参考 詳細は取り扱い説明書を参照

8.3.7.1 付属のソフトウェア

付属の CD-ROM の中で、Macintosh から本機で印刷する場合に必要なものは、以下のとおりである。

“AdobePS 8.7J”フォルダー

- 以下の Adobe 社製 PostScriptDriver のファイルが入っている。
 - ・AdobePS87J Installer:MacOS8.5 日本語版以降用
 - ・最初にお読みください

“AdobePS 8.5.2J”フォルダー

- 以下の Adobe 社製 PostScriptDriver のファイルが入っている。
 - ・AdobePS852J Installer:漢字 Talk7.1~MacOS8.1 日本語版用
 - ・AdobePS について

“プリンタ記述ファイル”フォルダー

プリンタードライバーの設定(AdobePS8.7J、AdobePS8.5.2J 以外)などで使用するプリンタ記述ファイルが入っている。

“Fuji Xerox PS Utility”フォルダー

Macintosh からプリンタの設定をする場合に使用します。接続するプリンタによって設定できる項目は異なる。Fuji Xerox PS Utility は、漢字 Talk7.5.1 日本語版以降で動作する。

“スクリーンフォント”フォルダー

Macintosh で使用するスクリーンフォントである。以下のものが入っている。

・“和文フォント”

- <Ryumin-Light><平成明朝 W 3>
- <GothicBBB-Medium><平成角ゴシック W 5>
- <FutoMinA101-Bold><平成丸ゴシック W 4>
- <FutoGoB101-Bold>
- <Jun101-Light>

・“PostScript 3 Fonts”(欧文フォント)

136 書体に対応するスクリーンフォントが入っている。スクリーンフォント 136 書体のうち、19 書体が TrueType 形式で、117 書体が Type1 形式で提供されている。Type1 形式のスクリーンフォントは、ATM をインストールしていない Macintosh では、使用できない。なお、プリント時は Adobe 社製 PostScriptDriver を使用する事。

・追加欧文フォント

28 書体の追加欧文フォントがある。“ATM”フォルダーフォルダー

フォルダーフォルダーフォルダーMacintosh 用の Adobe Type Manager が入っている。MacOS9 日本語版の場合は“ATM452”を、それ以外の場合は“ATM402”を使用する事。

インストール方法は、各フォルダー内の補足文書を参照

“Acrobat Reader”フォルダー

Macintosh 用の Acrobat Reader (4.0)が入っている。

“お読みください”

お問い合わせ先や、注意事項などが記載されている。

8.3.7.2 必要なハードウェア/ソフトウェア環境

Macintosh 用プリンタードライバー、およびユーティリティーの動作環境は、以下のとおりです。

コンピューター本体

- ・Macintosh
- ・Power Macintosh

基本ソフトウェア

プリンタードライバー

- ・AdobePS 8.5.2J:漢字 Talk7.1~MacOS8.1 日本語版
- ・AdobePS 8.7J :MacOS8.5 日本語版以降

ユーティリティー

- ・漢字 Talk7.5.1 日本語版以降

8.3.7.3 インストール手順

インストール手順

1. “PostScriptR Driver Library”の CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットする。
2. [FXOPS-PS]アイコンをダブルクリックする。
3. “AdobePS 8.5.2J”フォルダーを開く。
4. “AdobePS について”ファイルを開き、Adobe Printer Driver に関する情報を読む。
5. [AdobePS852J Installer]のプログラムアイコンを開く。
6. [続ける]をクリックする。
7. [同意]をクリックする。
8. [インストールの場所]を確認し、必要に応じて変更してから、[インストール]をクリックする。
9. [再起動]をクリックする。

8.3.7.4 スクリーンフォントのインストール手順

スクリーンフォントのインストール手順

1. “PostScript Driver Library”の CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットする。
2. [FXOPS-PS]アイコンをダブルクリックする。

3. “スクリーンフォント”フォルダーを開き、各フォルダー内のすべてのファイルを Macintosh の“システムフォルダ”にコピーする。
4. [OK]をクリックする。
5. Macintosh を再起動する。

8.3.7.5 Fuji Xerox PS Utility のインストール手順

Fuji Xerox PS Utility のインストール手順

1. “PostScript Driver Library”の CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットする。
2. [FXOPS-PS]アイコンをダブルクリックする。
3. “Fuji Xerox PS Utility”フォルダーを、Macintosh のハードディスクにコピーする。

Fuji Xerox PS Utility の削除

インストール先のハードディスクから“Fuji Xerox PS Utility”フォルダーを [ごみ箱]アイコンにドラッグする。